

全国パチンコ経営企業数及び店舗数に関する調査結果 2014

—企業数、店舗数ともに減少が続く—

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内のパチンコホール経営企業・店舗の調査を実施した。

1. 調査期間:2014年9月～12月
2. 調査対象:全国のパチンコホール経営企業および全国のパチンコホール
3. 調査方法:当社専門研究員による直接面談・電話・e-mailによるヒアリング、ならびに文献調査等を併用

【調査結果サマリー】

◆ 2014年12月末のパチンコホール経営企業数は3,702企業、店舗数は11,292店舗

2014年12月末のパチンコホール経営企業数は3,702企業であった。2013年末から2014年末までの一年間で116企業が減少しており、資本や経営者などで関連する企業グループでは93グループ減少の2,850グループであった。また、パチンコホール経営企業3,702社が営業するパチンコ店舗数は11,292店舗であった。2013年末時点から246店舗が減少し、経営企業数と同様に店舗数も減少が続いている。

◆ 2014年の新規出店数は222店舗

パチンコホール経営企業3,702社が、2014年に新規出店した店舗数は222店舗に留まった。新規出店数は年々微減状況にあり、出店地は大都市圏に偏っている。また、この数年は遊技機台数が1,000台を超える大規模店の新規出店が散見されている。

◆ 2014年12月末の遊技機台数は約458万台、店舗減少に反して微増の推移

店舗数減少での遊技機台数減少を新規出店・店舗リニューアルでの遊技機台数規模の大型化が上回っており、全国の遊技機台数は微増で推移している。

パチンコ機、パチスロ機別では、パチスロ機での増加傾向が強いことが分かり、2014年末のパチスロ機の設置台数は2010年比で125.6%に達している。

◆ 資料体裁

資料名:「パチンコ経営企業総覧 2015(東日本版)・(西日本版)」
発刊日:2015年2月10日
体裁 :A4判 735頁(東日本版) 795頁(西日本版)
定価 :各110,000円(税別)

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL:<http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

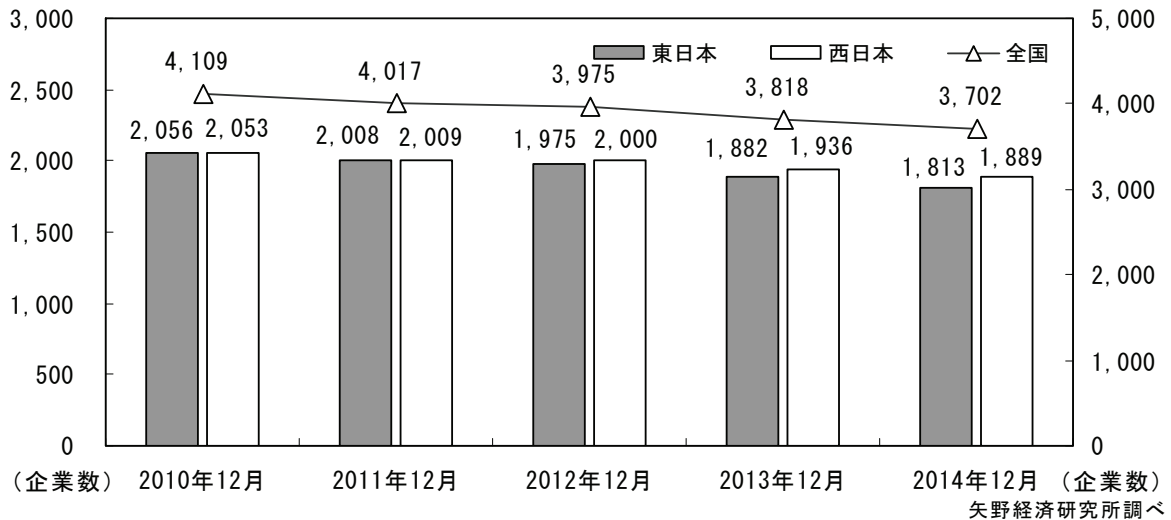
1. パチンコホール経営企業数

2014年12月末のパチンコホール経営企業数は3,702企業であったが、過去10年以上にわたり、一貫して企業数の減少が続いている。しかし、2007年までは年間で数百企業が減少していたが、2008年以降は比較的安定している。

2013年末から2014年末までの一年間で116企業が減少しており、これは主に1店舗経営などの小規模企業の撤退、倒産が原因である。

なお、資本、経営者などで関連する企業ごとに企業のグループ化を行うと、パチンコホール経営企業は2,850のグループに集約できる。

図1. パチンコ経営企業数の推移



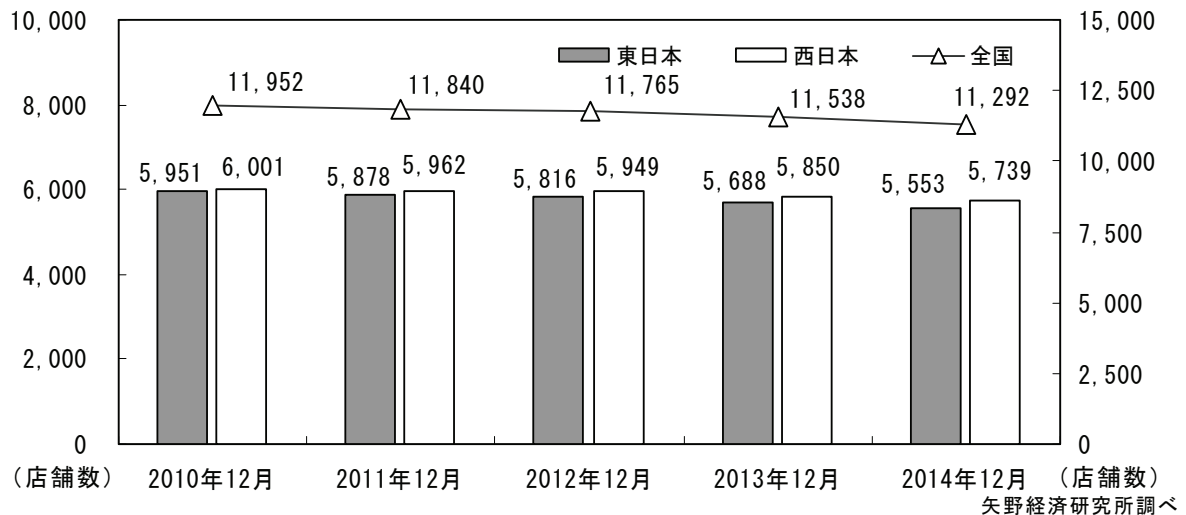
注1:各年12月末現在の社数

2. パチンコホール経営企業の営業店舗数

2014年12月末時点で、全国のパチンコ店は11,292店舗であった。この5年間では660店舗が減少している。警察庁発表数値によると、90年代前半には約18,000店舗程度が存在していたため、20年程度で6,000店舗以上が姿を消している。

2010年までの年間数百店舗の減少と比較すれば店舗数の増減は落ち着いているが、2013年、2014年と二調査連続で200店舗以上の減少となった。

図2. パチンコ店舗数の推移



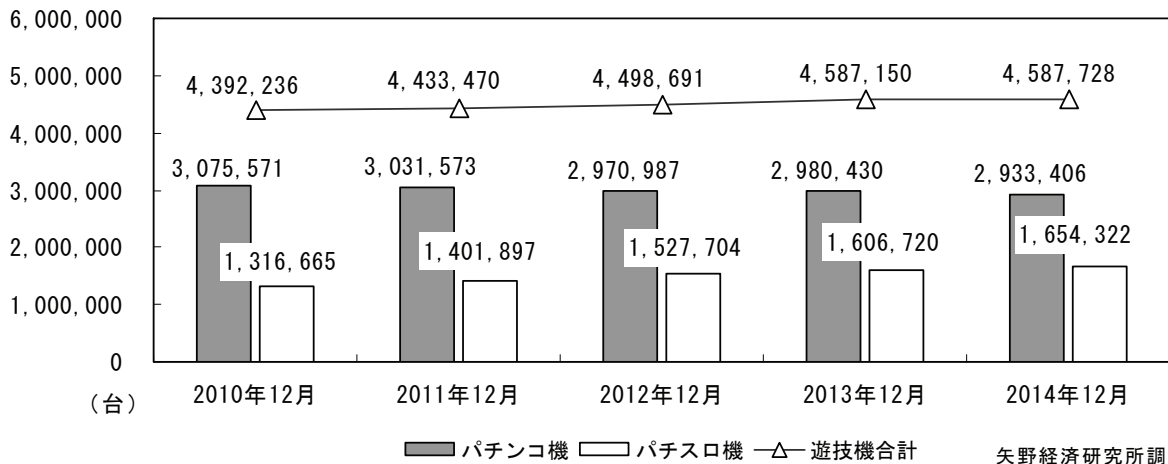
注2:各年12月末現在の店舗数

3. パチンコホール経営企業の保有する遊技機台数

2014年12月末時点での遊技機台数は約458万台であり、2010年比で104.5%であった。店舗数は2010年比で94.5%であるが、遊技機台数は微増傾向にあり、店舗数減少での遊技機台数減少を新規出店・店舗リニューアルでの遊技機台数規模の大型化が上回っていることが分かる。なお、パチンコ機、パチスロ機別では、パチスロ機での増加傾向が強いことが分かる。

2014年12月末のパチスロ機の設置台数は2010年比で125.6%に達し、僅か5年程度で約34万台も増加している。一方、パチンコ機は減少または微減傾向にあり、2010年と比べて約14万台減少している。2014年も引き続き「パチンコ減、パチスロ増」のトレンドが表れている。

図3. 遊技機台数の推移



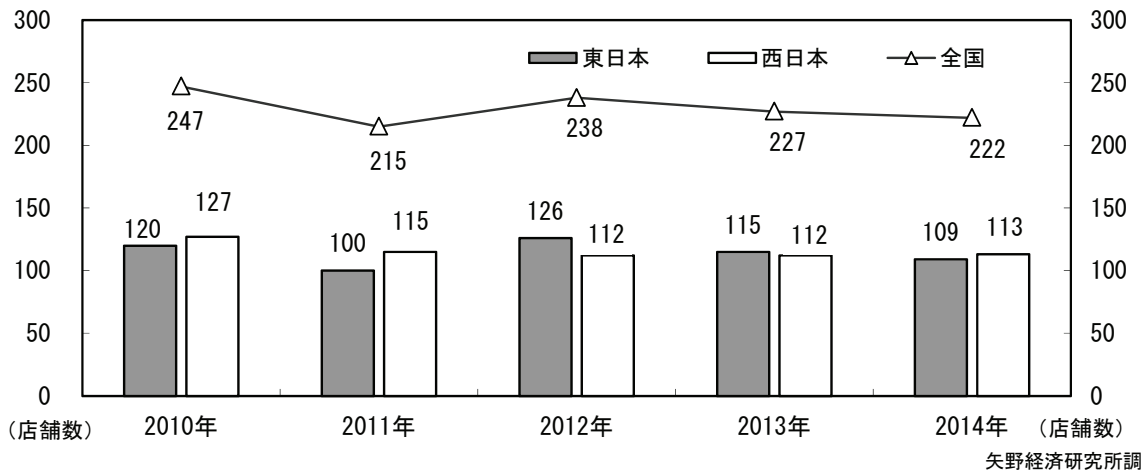
注3: 各年12月末現在で営業が確認できた店舗が保有する台数、台数不明の店舗分を除く
 注4: 遊技機台数は、パチンコ機とパチスロ機を合算した数値

4. パチンコホール経営企業の新規出店数

弊社調べでは、2014年の新規出店数は、前年比5店舗減の222店舗であった。東日本大震災のあった2011年を例外と捉えれば、新規出店数は微減が続いている。

東日本は東京、神奈川、埼玉に出店が集中しており、西日本は大阪、兵庫に出店が集中している。なお、大型店の出店数が堅調で、2012年以降は、遊技機台数1,000台以上の大型店舗も毎年20店舗程度出店している。

図4. 新規出店数の推移



注5: 各年1月~12月までの新規出店数